

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立

八幡中央

高等学校 定時制課程

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>「未来に輝く自分を創るチャンスにあふれた夜間定時制高校」 分かる・できる喜びにあふれた授業と仲間との協働を柱とする高校生活を通じて、自らの人生を主体的に切り拓くことができる力を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたり自己の向上を目指し、学び続けることができる人材の育成 ・集団での多様性を認め、共感的人間関係を構築できる人材の育成 ・社会的自立を目指し、主体的な進路選択のできる人材の育成
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人の学習状況に合わせ、基礎基本の学び直しから対応できる少人数指導を行う ・生徒の特性に応じた個別の教育的支援を積極的に行う ・発達段階に応じたキャリア教育を実施して、夢と志の支援を行う
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・努力して学び、高校を卒業するという強い意志を持つ者 ・他者を認め、自他を大切にすることができる者 ・将来の夢や目標に向かって努力する者

学校運営計画(4月)

学校運営方針	グランドデザインに則った教育実践により、豊かな人間性を身につけ、地域や社会に信頼され、貢献できる生徒を育成する。		評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>多様な生徒が在籍する定時制課程において、それぞれのニーズを把握し応えていくことが求められている。 学習内容や学校行事の工夫、生徒への個別対応に努めることで一定の目標は達成できている。 個別の教育的支援を必要とする生徒が増加傾向にあり、個別最適な支援を模索していく必要がある。 家庭状況や学習状況、発達段階などを踏まえ、外部との連携や教員間の密な情報共有、職員研修を行い、就学保障及び進路保障の充実を目指し、全職員で課題解決にあたっていく。</p>	1 きめ細かな学習指導	基礎基本から学び直しを通じて学習意欲を喚起し、達成感を得ることができる学習指導の充実を図る。	
	2 観点別学習評価の充実	思考力・判断力・表現力等を育む学習活動を設けた上で、一人一人の学習内容の確実な定着を目指す。	
	3 安心して学ぶ環境づくり	多様性を認め、自他を尊重し、いじめや差別のない安心して学ぶことができる教育環境の保全に努める。	
	4 豊かな人間性の向上	生徒主体の学校行事や体育的・文化的活動への積極的な参加を通じて自己肯定感や共感的人間関係を高める。	
	5 キャリア発達の支援	発達段階に応じたキャリア教育を行い、主体的な進路選択を支援し、社会的自立と社会参画の力を育む。	
	6 教員のICTスキルの向上	外部人材を活用しながら、授業でのICT活用促進を図り「わかる授業」の展開を目指す。また、生徒に情報処理検定等の受検を促す。	

	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務	授業規律を確立し、効果ある授業を目指す。 基礎・基本の学力を定着させ、生徒のニーズに応じた学力の伸長を図る。	教材の準備、机上の整理を徹底させ、授業に集中できる教室づくりに努める。	出席率	
		出席や成績の状況等、家庭・保護者と連絡をとり、連携して就学・修学に努める。		
生徒指導	基本的な生活習慣の確立を目指し、安全で安心して学べる学習環境を整備する。 生徒会活動を通して、主体的に取り組む姿勢と豊かな人間性の涵養を目指す。	授業の内容・方法を工夫し、生徒の実態に応じた授業づくりに努める。	授業アンケート	
		すべての授業で、生徒が主体的に探究できるような授業づくりを目指す。		
進路指導	生徒の進路実現に向けた意識の向上を図り、主体的な自己実現力を育成する。 在校生の就業機会を確保・促進する。	登下校時の声かけを通して、生徒と教職員の相互理解に努める。	いじめアンケート	
		教職員間の情報交換を密に行い、いじめや差別を許さない環境作りに努める。		
進路指導	生徒の進路実現に向けた意識の向上を図り、主体的な自己実現力を育成する。 在校生の就業機会を確保・促進する。	学校行事の活性化を通して、生徒の自尊意識の向上を目指す。	学校生活アンケート	
		生徒会執行部生徒の自主性を育成し、生徒に寄り添い適切に指導する。		
進路指導	生徒の進路実現に向けた意識の向上を図り、主体的な自己実現力を育成する。 在校生の就業機会を確保・促進する。	生徒の情報交換を積極的に行い、外部機関と連携した支援を継続的に行う。	就職率・進学率	
		生徒の発達段階に応じた進路講演会や進路ガイダンスなどを実施する。		
進路指導	在校生の就業機会を確保・促進する。	卒業予定生、担任と連携をし、主体的な進路実現を目指す。	進路アンケート	
		進路学習の履歴となるキャリアパスポートを充実させ、生徒の進路意識を高める。		
研修・情報	校内外の研修による教職員の資質・能力の向上を図る。 電子黒板やChromebook等を含むICT機器の活用の推進を図る。	アルバイト情報を提供するなどの就業意識を高める取組を継続する。	総論的な探究の内容を全職員に周知し、質の向上を図る	
		総合的な探究の内容を全職員に周知し、質の向上を図る		
研修・情報	校内外の研修による教職員の資質・能力の向上を図る。 電子黒板やChromebook等を含むICT機器の活用の推進を図る。	電子黒板やChromebook等のICT機器を効果的に活用できるよう研修等を行う。	授業アンケート	
		生徒理解及びICT活用に関する内部研修を1回ずつ実施する。		
研修・情報	電子黒板やChromebook等を含むICT機器の活用の推進を図る。	研修についての案内をおこない、各職員1回ずつの参加を達成する。	新入生徒宛の家庭の通信状況 (ネットワーク)に係るアンケート	
		ICT支援員と連携し、授業等でのICT機器の使用率60%を達成する。		
庶務・図書	学校環境の整備・充実を図る。 生徒の読書活動増進と図書館の利用の普及を図る。	生徒への連絡手段としてclassroomを使用する。	希望図書アンケート	
		classroomを活用し、生徒が相互的に授業の復習をしやすい環境を構築する。		
保健	心身の健康に関する指導の充実を図る。 健康相談活動の充実を図る。	全日制・定時制との施設共用を円滑に行い、教育活動の充実を図る。	学校生活アンケート	
		奨学金等の分かりやすい案内に努め、就学並びに修学の保障に努める。		
保健	心身の健康に関する指導の充実を図る。 健康相談活動の充実を図る。	ようこそ定時制の作成が円滑に行えるように努める。	希望図書アンケート	
		購入図書希望調査を学期に1回行う。		
保健	心身の健康に関する指導の充実を図る。 健康相談活動の充実を図る。	新刊購入時は新刊案内を行う。	生活習慣アンケート	
		生徒が本に触れやすい取組を検討する。		
保健	心身の健康に関する指導の充実を図る。 健康相談活動の充実を図る。	健康診断を通して自身の健康状態に関心を持ち、自己管理する能力の育成を図る。	学校生活アンケート	
		ほけんだより、掲示物等を通して健康に関する情報発信を行う。		
保健	心身の健康に関する指導の充実を図る。 健康相談活動の充実を図る。	生徒保健委員会を活用し、主体的に生徒が保健活動に関わる機会を作る。		
		生徒のプライバシーを配慮しながら教員間で情報共有を行う。		
保健	心身の健康に関する指導の充実を図る。 健康相談活動の充実を図る。	必要に応じて外部機関と連携し継続的に組織で対応する。		
		生徒と継続的なコミュニケーションをとり、信頼関係の構築を図る。		

人権・同和教育	「安心して通える学校」づくりを促進する。	生徒の人権が守られる教育環境の整備に努める。	人権教育ふり返しシート	
		自己肯定感や自尊感情を育て、人権意識の涵養を目指す。		
		特設授業にかぎらず、あらゆる教育活動を通して生徒の人権感覚を育む。		
	人権教育に関する積極的な職員研修を実施する。	人権教育に関する校外各種研修会への職員全員参加をめざす。	各種研修への参加率	
		研修成果を職員間で共有し、人権感覚の涵養に努める。		
		人権に関する研修会情報の周知を行い、職員が参加できる環境を整える。		